

AACK 総会講演

北大山の会 (AACH) と北大山岳部

渡辺興亜(AACH)

明治42～45	北大にスキー伝来				
明治45年	北大スキー部創立			白瀬南極探検隊	
	中央高地冬季初登時代				
大正10年	予科旅行部創立			山とスキー創刊	
11年	旭岳, 黒岳冬期初登			大正9～14年 北海道5万分の1地形図刊行	
13年	十勝岳冬期初登				
昭和元年(1926)	11月10日 北大山岳部創立				
	日高山脈、冬の時代				
4年	幌尻岳、トッタベツ岳冬期初登				
5年				AACK創立	
6年	カムエク、エサオマン、札内岳冬期初登			京大旅行部極地法で富士登山	
8年	極地法による石狩岳、ユニ石狩岳(冬期初登)				
				第5次英国エヴェレスト遠征	
11年				京大極地法で朝鮮白頭山登頂 立教大学ナンダコット登頂	
12年	第1次冬期ペテガリ登山(極地法)				
13年	カムイ岳冬期初登頂(中野、葛西、有馬洋)				
	十勝岳合宿で雪崩遭難				
14年					
15年	1月ペテガリ岳登山隊遭難(葛西、有馬、戸倉、片山、清水、近藤、羽田、渡辺ら)				
18年	1月ペテガリ岳冬期初登頂(今村、佐藤)				
19年					
20年(1945)	終戦				

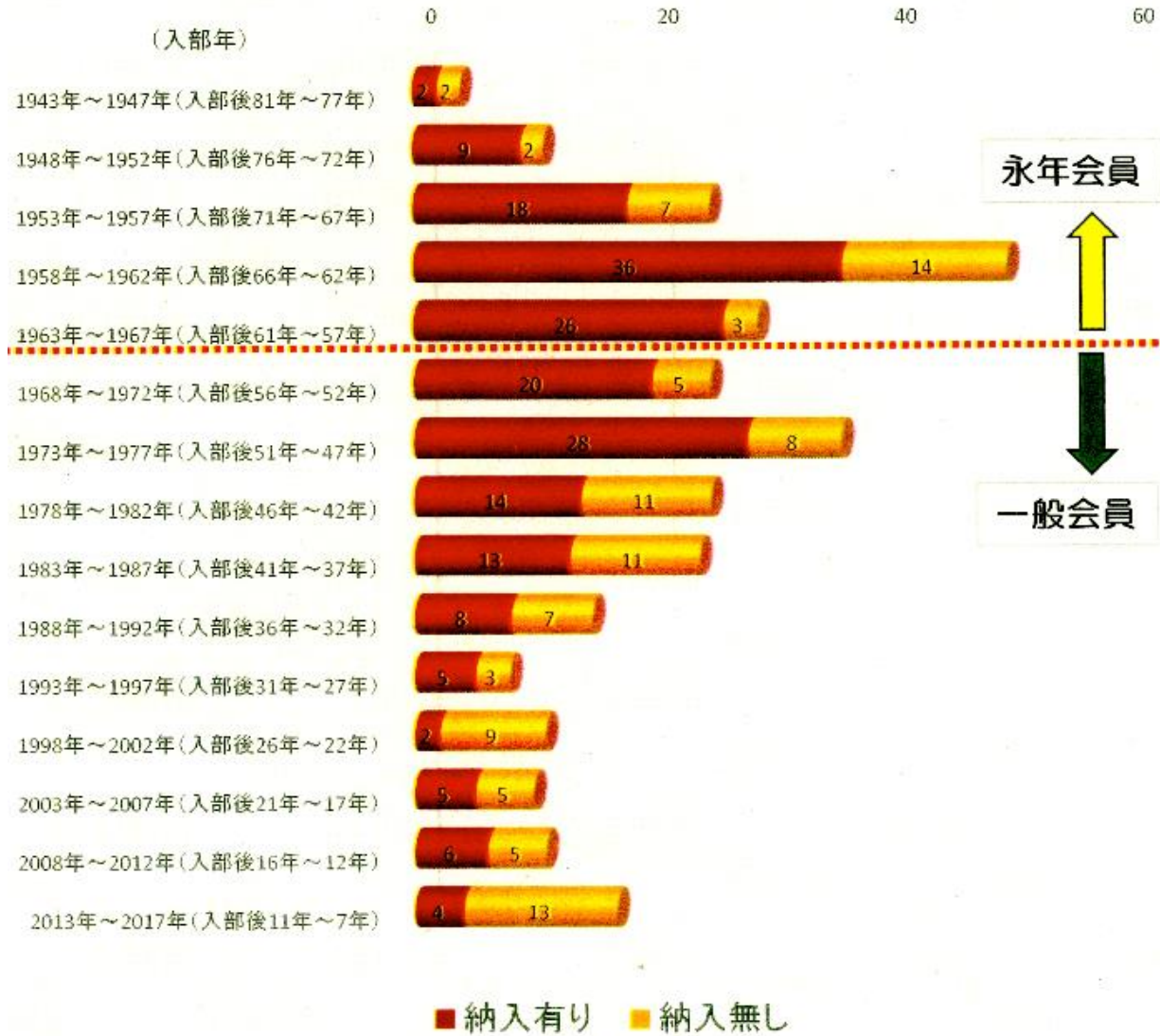
20年 (1945)		終戦		
23年		1～2月イドンナップ岳冬期初登頂 (橋本芳、山崎、木崎、菊池、関ら)		
24年		1月カムエク冬期初登頂 (橋本誠、関、長井、野田)		
25年 (1950)		大学制度新制		
			フランス隊アンナプルナI峰登頂	
26年		十勝一大雪冬期全山縦走		
			5月英国隊エベレスト登頂	
28年		第1次マナスル登山隊参加 (山崎英雄)		
29年		第2次マナスル登山隊参加 (山崎英雄)		
30年		マナスル先遣隊参加 (橋本誠二)		
31年		日高山脈全山縦走		
32年		第1次南極観測隊参加 (中野、佐伯、菊池、小林)		
37年	1962	チャムラン登頂		
38年	1963	ナラカンカール遠征隊		
40年		中央ネパール学術調査隊	第1次パタゴニア調査隊	
55年	1980	冬季バレンツ登頂		
	1982	冬季ダウラギリ I 登頂		

26年		十勝一大雪冬期全山縦走			
				5月英国隊エベレスト登頂	
28年		第1次マナスル登山隊参加（山崎英雄）			
29年		第2次マナスル登山隊参加（山崎英雄）			
30年		マナスル先遣隊参加（橋本誠二）			
31年		日高山脈全山縦走			
32年		第1次南極観測隊参加（中野、佐伯、菊池、小林）			
37年	1962	チャムラン登頂			
38年	1963	ナラカンカール遠征隊			
40年		中央ネパール学術調査隊	第1次パタゴニア調査隊		
55年	1980	冬季バレンツ登頂			
	1982	冬季ダウラギリ I 登頂			
	1994	AACH770周年記念山岳館竣工			
	2016	AACH90周年記念「寒冷の系譜」刊行			
	2026	AACH100周年記念事業			

	ヒマラヤ氷河研究		南極雪氷観測	
1963	北大西ネパール遠征隊（登山・学術調査）			
1964	北大理学研究科 『多結晶氷の結晶主軸方位性の実験的研究』			
1965	北大中央ネパール学術調査隊(地質・氷河・生物調査)			
1966	名古屋大学理学部 多年性雪渓観測（北アルプス）	60		
1967				
1968	海外学術調査：北極水圏学術調査（アラスカ・永久凍土）		エンダービーランド雪氷計画	
1969			第10次南極地域観測隊(JARE10)	上田・成瀬
1970	海外学術調査申請書作成（渡辺・佐藤）		JARE11	渡辺・佐藤
1971	ヒマラヤ・ハジゲン気象・氷河観測所（通年観測開始）		JARE12	山田
1972	<i>The Glaciological Exp.of Nepal Himaraya</i> (GEN1972)		JARE13	成田・奥平
1973			JARE14	成瀬・横山
1974	(GEN74)	70	JARE15	渡辺・佐藤
1975	科学技術庁長岡雪害実験研究所（1975~77）		JARE16	滝沢
1976	(GEN76)			
1977				
1978	(GEN78) Debris Cover Project in Khumbu Gl.			
1979				
1980				
1981	Glacier Boring Project (GEN- LP 1981) 天山氷河調査		東ドローニングモード雪氷計画	
1982	Glacier Boring Project (GEN- LP 1982)		JARE23~27	
1983				
1984		80		
1985	GEN-LP 1985 コンロン山脈氷河調査(渡辺・中尾)		ドームふじ深層掘削計画（第I期）	
	国立極地研究所		JARE32~37	

入部年階層別会員数(5年/1階層) 2023年2月末現在

(人)



永年会員



一般会員



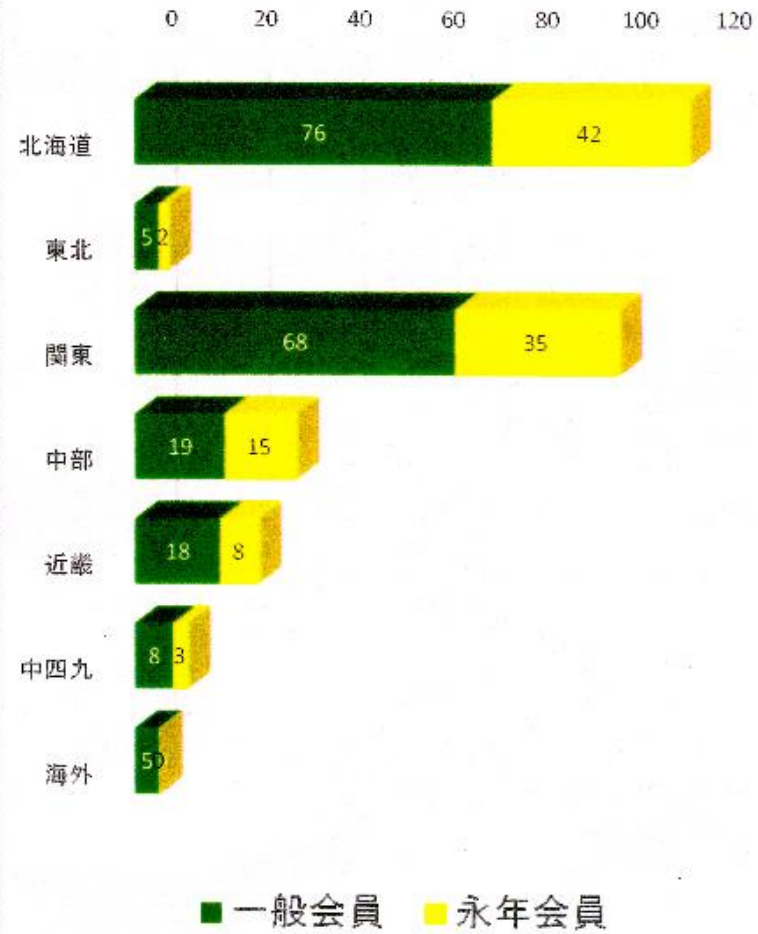
在籍50年(68歳)

渡辺 (1958) →

団塊世代(1965~69)→

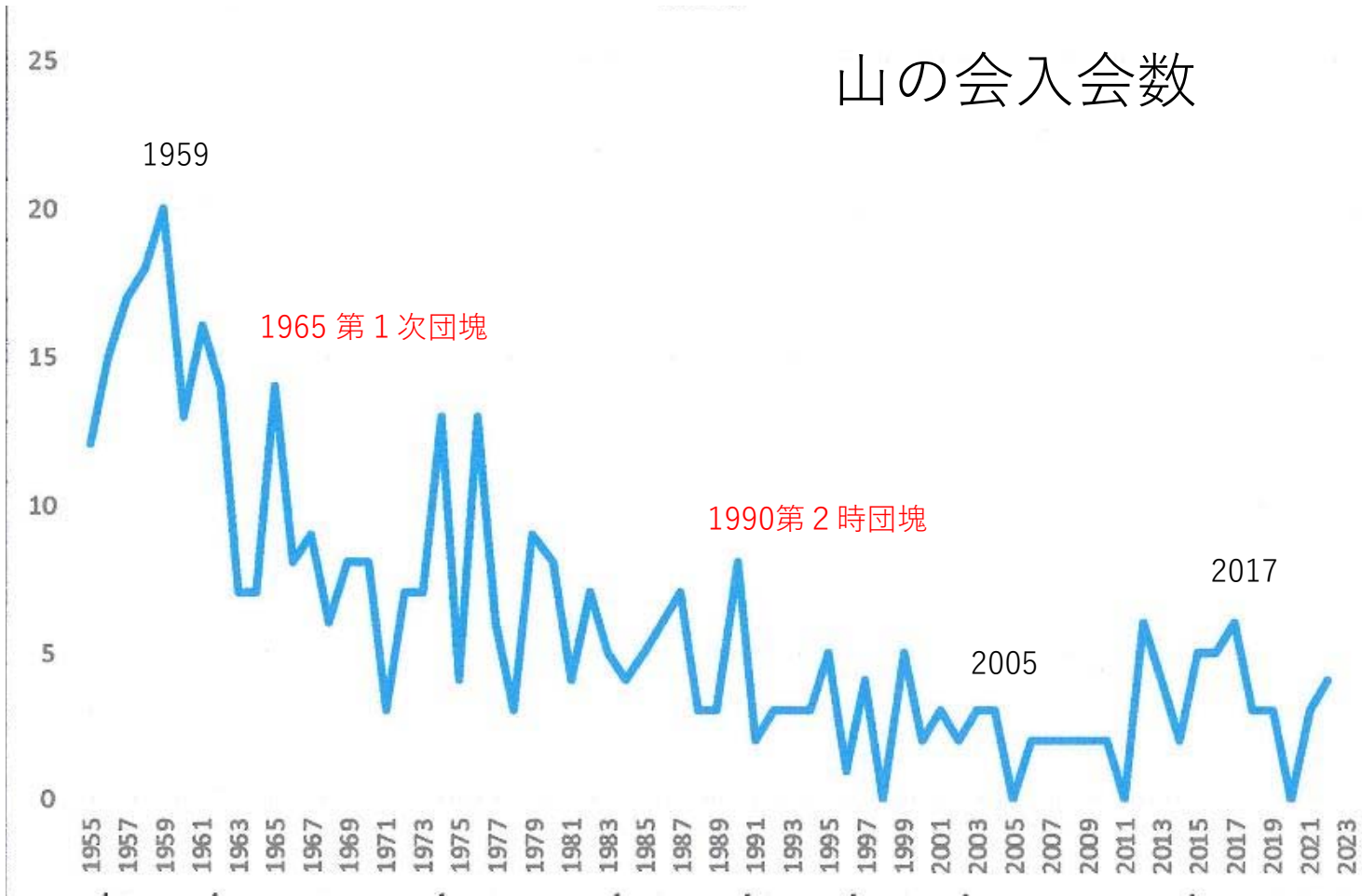
北大山の会地域別会員数

(人)

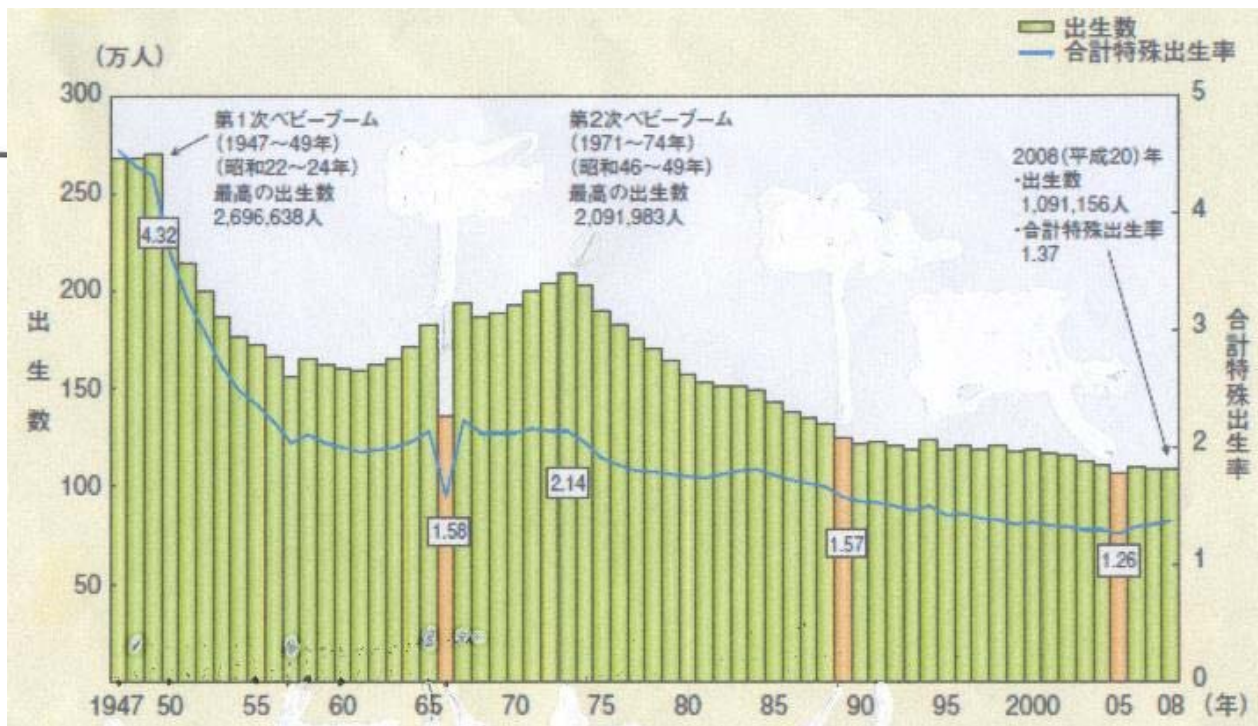
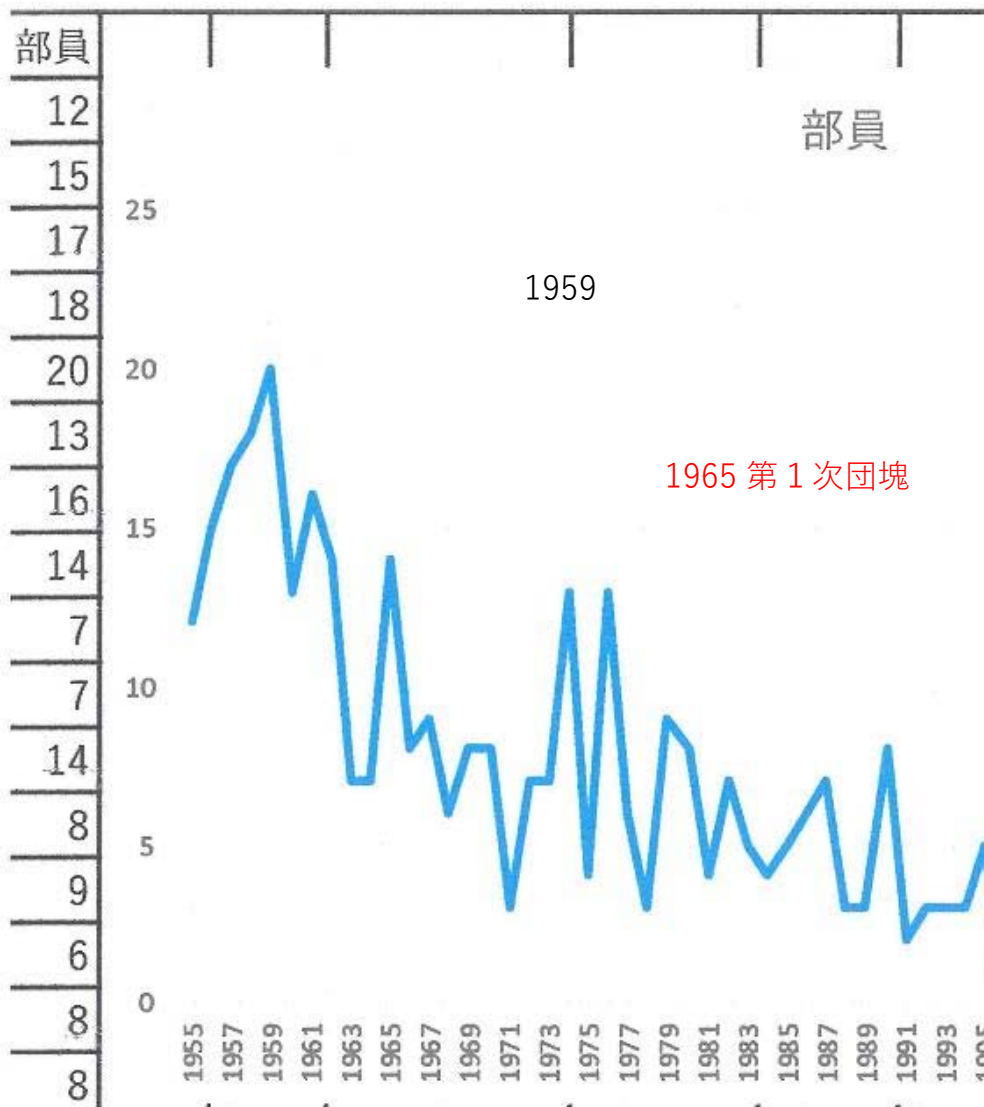


最近の北大山岳部

山の会入会数



山の会入会数

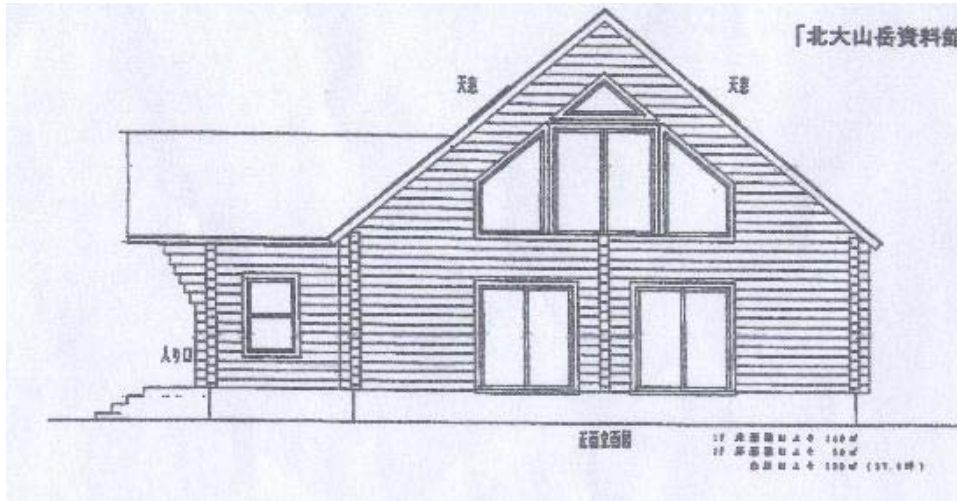


1990第2時団塊

2017

部報14号による部員構成と会員名簿の比較						
年度	1年目	2年目	3年目	4年目	計4年目まで	山の会名簿
1989	5	3	7	4	19	3
1990	9	3	3	6	21	8
1991	3	9	2	3	17	2
1992	6	1	8	1	16	3
1993	8	5	1	8	22	2
1994	2	5	3	1	11	3
1995	13	2	3	2	20	5
1996	2	10	2	3	17	1
1997	4	2	4	0	10	4
1998	6	4	1	3	14	0
1999	10	5	3	1	19	5
2000	4	8	0	3	15	2
2001	7	3	6	0	16	3
2002	5	5	3	4	17	2
2003	7	3	3	2	15	3
2004	5	6	2	2	15	3
2005	2	4	2	2	10	0
平均	5.8	4.6	3.1	2.6	16.1	2.9
			h			

2019			2020			2021			2022		
年目	入部年		年目			年目			年目		
4	笠井 慎太郎	16 M	5	笠井慎太郎	16 M	3	田中優太郎	16 M	4	田中優太郎	16 M
4	吉田 みどり	16 F	4	青木一眞	16 M	3	中川凌佑	17 F	4	中川凌佑	17 M
4	竹内 祥太	16 M	4	佐藤雄貴	16 M	3	早田秀平	17 M	4	早田秀平	17 M
4	水野 就	16 M	4	竹中 源弥	16 M	3	石川結女	19 F	4	石川結女	19 F
3	佐藤 雄貴	17 M	2	寶田慶豪	17 M	2	柴部 まる	20 F	3	柴部 まる	20 F
3	井上 大地	17 M	2	田中優太郎	17 M	2	山下 晴海	20 F	3	山下 晴海	20 F
3	青木 一眞	17 M	2	中川凌佑	17 M	2	宮下孝一郎	20 M	3	宮下孝一郎	20 M
3	竹中 源弥	17 M	2	早田秀平	17 M	1	齋藤美沙	21 F	2	齋藤美沙	21 F
3	飯田 幹太	17 M	2	石川結女	19 F	1	小川果歩	21 F	2	小川果歩	21 F
2	岡崎 翌見	18 M	2	瓢子 俊太郎	19 M	1	鈴木陽祐	21 M	2	鈴木陽祐	21 M
1	寶田 慶豪	19 M	2	村井 秀	19 M	4	村井 秀	21 M	1	小野寺安珠	22 F
1	田中 優太郎	19 M	1	小倉 海人	20 M				1	桐野祐麻	22 M
1	中川 凌佑	19 M	1	柴部 まる	20 F				1	杉山雄介	22 M
1	石川 結女	19 F	1	山下 はるみ	20 F				1	西園永悠	22 M
1	瓢子 俊太郎	19 M	4	井上大地	20 M				4	村井 秀	22 M
1	早田秀平	19 M	4	飯田幹太	20 M						
1	村井秀	19 M	5	竹内 祥太	20 M						
			5	水野 就	20 M						



北大山岳館

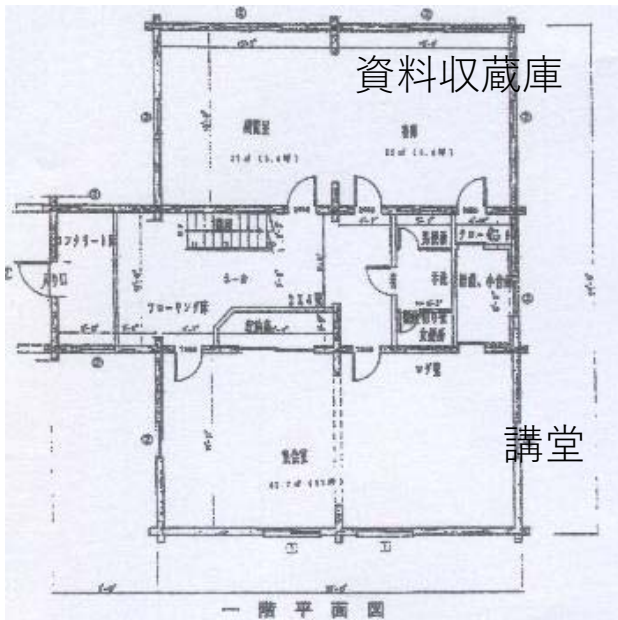
設立： 1997年

木造一部二階建ログハウス
耐震，防火強化設計
建物面積：190平方米（58坪）

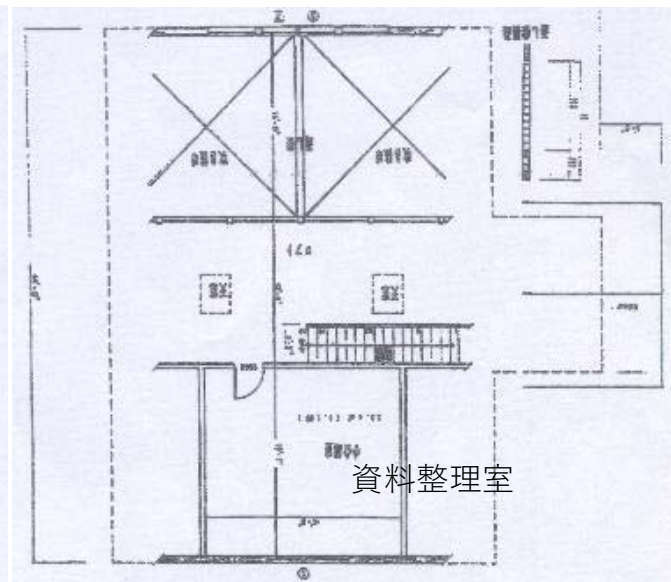
建設費： 約2400万円

蔵書数：和洋書約10,000冊

収蔵資料：地図その他，約1000点



一階平面図



二階平面図

北大山岳部が管理運営する山小屋

ヘルベチア小屋：

昭和2年(1927) マックス・ヒンダー、アーノルド・グブラーの二人のスイス人によって建設。ヘルベチアはスイス国の古名。日本で最も古い丸太小屋の一つ。小屋正面に掲げた小屋章（北大山岳部の部員章の起源）に北大山岳部を「AACH」と記載されている。

山岳部ヘルベチア幹事が管理。管理費，薪代は北大負担

空沼小屋：

昭和3年(1928) 秩父宮が建設，北大に寄贈。最近10年老朽化が進んでいたが，曳屋工法で土台修復工事を行い，2017年竣工。有形文化財認定

山岳部空沼幹事が管理。管理費，薪代は北大管理